

令和6年度宮城県水防協議会 会議録

日 時	令和6年5月30日（木） 午前10時から午前11時まで
場 所	宮城県行政庁舎9階 第一会議室
出席者	別添出席者名簿のとおり
配付資料	資料1～7

1 出席者紹介	<p>司会（県土木部河川課 小野寺副参事兼総括課長補佐） （別添出席者名簿により紹介した。）</p>
2 あいさつ	<p>池田副知事</p> <p>令和6年度宮城県水防協議会の開会に当たり、一言挨拶を申し上げます。</p> <p>本県の河川及び海岸行政の推進につきましては、日頃格別の御支援、御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。また、本日は大変お忙しい中、御出席を賜り、誠にありがとうございます。</p> <p>はじめに、元日に発生しました令和六年能登半島地震により、被害に見舞われ、厳しい生活を送っておられる被災者の方々に、改めてお見舞いを申し上げますとともに、お亡くなりになられた方々の御冥福を心よりお祈りいたします。</p> <p>また、県では、地震発生直後に広域応援本部を設置し、被災地のニーズに合わせた支援を行っております。今後とも東日本大震災の経験を十分に活かし、被災地の一日も早い復旧・復興に向けた支援に取り組んでまいります。</p> <p>さて、近年、全国各地で大規模災害が相次いでおり、本県においても、平成27年9月関東・東北豪雨、令和元年東日本台風、令和4年7月の大雨などにみられますように、水災害が激甚化・頻発化しているところです。</p> <p>このような水災害から住民の生命・財産を守るため、あらゆる関係者が協働して、ハード・ソフト一体となった流域治水の取組を推進することがますます重要となっております。</p> <p>本日御審議いただく「宮城県水防計画」は、洪水等による県土への被害軽減のため、各河川における水防上必要な監視や予報、関係機関との通信連絡及び水防団の活動等に関する大綱を定めたものです。</p> <p>今年度は、水防関係各所からいただいた御意見の反映に伴う内容修正のほか、北上川水系二股川の水防警報等に係る基準水位の変更、洪水浸水想定区域の指定の追加、などを反映することとしております。</p> <p>本県にとりまして極めて重要な計画でありますので、委員の皆様におかれましては、専門的な見地から、忌憚のない御意見を賜りますようお願い</p>

	<p>申し上げます。</p> <p>結びに、本県では引き続き水防体制の充実に努めてまいりますので、委員の皆様におかれましても、ますますの御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます、開会の挨拶とさせていただきます。</p> <p>(池田副知事は所用のため退席。)</p>
3 定足数の確認等	<p>司会（県土木部河川課 小野寺副参事兼総括課長補佐）</p> <p>水防協議会条例第4条第2項に規定する協議会の開催要件を満たしていることを報告。また、情報公開条例第19条第1項に基づき、公開とすることを説明。以後、県土木部の岩崎理事が座長を務めることとなった。</p>
4 議事	<p>座長（県土木部 岩崎理事）</p> <p>議事の内容が、「令和6年度宮城県水防計画について」であることを説明し、事務局に対して内容の説明を要求。</p>
5 説明	<p>事務局（県土木部河川課 鈴木課長）</p> <p>「資料2」の令和6年度宮城県水防計画書案の変更概要について、「資料1」に基づき、説明。</p> <p>座長（県土木部 岩崎理事）</p> <p>仙台管区気象台気象防災部予報課の栗田水害対策気象官に説明を依頼。</p> <p>説明者（仙台管区気象台 栗田水害対策気象官）</p> <p>「資料3」に基づき、防災気象情報の改善内容について説明があり、「資料3」に添付の内容が水防計画書に反映される旨説明された。また、この夏の天候の見通しについて説明が行われた。</p>
6 質疑	<p>座長（県土木部 岩崎理事）</p> <p>今の説明内容に、質問・意見等はないか。</p> <p>吉田委員</p> <p>「資料3」の3ページ目の「①-2 呼びかけが行われたときは」に関連して伺いたい内容がある。線状降水帯の発生に関する気象台からの情報発信や呼びかけの内容について、発生可能性の程度や、災害の規模によって、表現に違いは生じるのか。</p> <p>説明者（仙台管区気象台 栗田水害対策気象官）</p> <p>線状降水帯発生の予測がある場合は、気象情報の中で線状降水帯というキーワードを用いることとしている。</p>

7 議事承認	<p>線状降水帯というキーワード自体が災害発生の可能性が極めて大きいことを示すものであり、キーワード自体に規模や程度の文言は使用しない。</p> <p>気象情報に記述する1時間・24時間の予想最大降雨量などと合わせて報じることで危機感を伝えていただきたい。</p> <p>座長（県土木部 岩崎理事） 他に質問・意見等はないか。</p> <p>なければ、原案のとおり議事を承認することとしてよいか。</p> <p>異議がないので、議事を承認することとする。</p>
8 報告事項	<p>司会（県土木部河川課 小野寺副参事兼総括課長補佐） 座長から司会進行を事務局に委ねられ、事務局より次第のとおり、報告事項について説明することを伝達。</p> <p>事務局（県土木部河川課 千葉課長補佐） 「資料4」に基づき、（1）水防警報の電子メール化の運用について報告がなされた。</p> <p>司会（県土木部河川課 小野寺副参事兼総括課長補佐） （2）令和5年度水防警報発令及び洪水予報発表状況一覧については、「資料5」のとおりである旨報告がなされた。</p> <p>事務局（県土木部河川課 阿部技術主任主査） 「資料6」に基づき、（3）流域治水の推進と特定都市河川の指定について報告がなされた。</p>
9 情報提供	<p>司会（県土木部河川課 小野寺副参事兼総括課長補佐） 事務局説明に対する質疑を確認したが、質問がなかったため、次第5の情報提供に入ることを伝え、東北地方整備局河川部水災害予報センターの中村センター長に対して、情報提供を依頼。</p> <p>情報提供（東北地方整備局河川部水災害予報センター 中村センター長） 「資料7」に基づき、水防協力団体について説明が行われた。</p>
10 質疑・閉会	<p>司会（県土木部河川課 小野寺副参事兼総括課長補佐） 情報提供に関する質疑、全体を通しての質疑等の有無を確認したが、質</p>

	<p>疑等は出されなかったため、閉会とした。</p>
--	----------------------------

令和6年度宮城県水防協議会 委員・出席者名簿

開催日：令和6年5月30日(木)

(敬称略)

役職名	現職名	氏名	備考
会長	宮城県知事	村 井 嘉 浩	代理：副知事 池田 敬之
委員	東北地方整備局河川部長	成 田 秋 義	代理：河川部水災害予報センター長 中村 敏也
〃	仙台管区气象台気象防災部長	塚 本 尚 樹	
〃	東北運輸局総務部長	宮 嶋 睦 男	代理：総務部安全防災・危機管理調整官 及川 三千男
〃	陸上自衛隊第22即応機動連隊長	中 本 能 久	代理：火力調整幹部 佐々木 秀幸
〃	日本放送協会仙台放送局コンテンツセンター長	吉 田 賢 治	
〃	東日本旅客鉄道株式会社東北本部設備ユニット ユニットリーダー	佐 々 木 政 人	代理：仙台土木設備技術センター所長 藤原 寅士良
〃	東日本電信電話株式会社宮城事業部宮城支店 設備部長	水 田 宗 徳	
〃	社会福祉法人萩の里理事長	阿 部 仁 美	
〃	公益財団法人宮城県消防協会会長	佐 藤 孝 義	
〃	大和町消防団副分団長	蜂 谷 澄 江	
〃	宮城県警察本部長	細 田 正	代理：警備部警備課災害対策室長 菅生 拓世
〃	宮城県復興・危機管理部長	高 橋 義 広	代理：復興・危機管理部副参事兼防災推進課総括課長補佐 鈴木 美孝
〃	宮城県保健福祉部長	志 賀 慎 治	代理：保健福祉総務課長 大泉 美津子
〃	宮城県土木部長	千 葉 衛	代理：土木部理事兼副部長 岩崎 謙二
委員 随行	仙台管区气象台気象防災部予報課水害対策気象官	栗 田 邦 明	資料説明者
(事務局)	宮城県土木部河川課長	鈴 木 善 友	
〃	宮城県土木部河川課 副参事兼総括課長補佐	小 野 寺 大 作	
〃	〃 課長補佐(水政班長)	千 葉 一 成	
〃	〃 技術主任主査(企画調査班 副班長)	阿 部 欽 章	